

質問； バットをベンチの外に放置していることから中に入れるよう審判員に注意されるケースがよく見られますが、ペナルティはあるのでしょうか。

回答； 審判員からよく注意されていますね。ただ単に危ないからだけというものではありません。次のルールがあります。

「用具は競技場内に放置してはならない」となっています。球が競技用具以外の用具に触れたときのペナルティは、次のようになっています。ポイントは_____の部分です。今まさにプレイで使用している用具以外の用具を指します。例えば、バットを例にとってみますと、バッターボックスにいる打者が持っているバットは競技用具ですが、それ以外は競技用具以外の用具となります。次打席で次打者が持っているバットも該当します。今まさにプレイに使用(関係)していないもの全てです。

○球が攻撃側の放置した用具に触れたとき。 ←触れただけでペナルティがあります。

- (1) ボールデッド
- (2) プレイの対象となった走者がアウト。他の走者はボールデッドになったときの塁に戻らなければならない。
- (3) プレイの対象となった走者がはっきりしないときは、すべての走者はボールデッドになったときの塁に戻らなければならない。

○球が守備側の放置した用具に触れたとき。 ←触れただけでペナルティがあります。

- (1) ボールデッド
- (2) 投球が触れたとき、各走者に投球時の塁から1個の安全進塁権を与える。
- (3) 送球が触れたとき、各走者に球が野手の手を離れたときの塁から2個の安全進塁権を与える。
- (4) 打球が触れたとき、各走者に投球時の塁から2個の安全進塁権を与える。

(注) ファウルの打球がファウル地域に放置した用具に触れたときはファウルボールです。